

ホーム画面 (home.html)

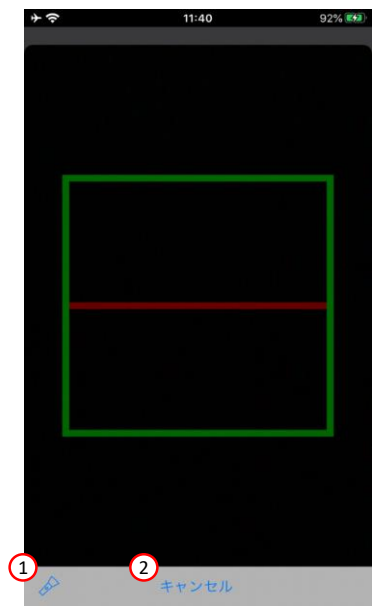


表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	アプリを起動すると表示されます。	index.htmlで初期画面として設定されています。
ー	言語設定に従って日英表示をします。	起動画面の表示中にsettings.jsonを読み込み、言語を切り替えます。
ー	初回起動時にアプリの説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、起動回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの起動回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
2	JANコードで検索画面に移動します。	ー
3	商品カテゴリー画面① (生鮮食品、お惣菜) に移動します。	ー
4	商品カテゴリー画面① (JICFS_IDEA) に移動します。	ー
5	設定画面1に移動します。	ー
6	このアプリについて画面に移動します。	ー
7	webブラウザを起動してプライバシーポリシーページにアクセスします。	ー
8	日英表示切替をします。	切り替えたタイミングで、 settings.jsonの言語設定を更新して保存します。



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	バーコードスキャン機能によりカメラが起動します。	scan.jsによりバーコードスキャンプラグインが起動します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	スキャンしたバーコードに該当する商品がデータベースにある場合、商品画面に移動します。	バーコードでJICFS_IDEAテーブルのJANコードを検索します。 移動時には、商品画面からの戻り先画面（所属する商品一覧画面、商品カテゴリー画面）を商品画面の裏に生成します。 ホーム画面以外からスキャン機能を起動している場合、スキャン起動時の画面に戻ることはできなくなります。
ー	スキャンしたバーコードに該当する商品がない場合、ダイアログを表示してスキャン起動前の画面に戻ります。	ー
1	本体のフラッシュライトをオン/オフします。	バーコードスキャンプラグインの標準機能です。
2	スキャンを終了し、スキャン起動前の画面に戻ります。	バーコードスキャンプラグインの標準機能です。



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	ー	ー

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	バーコードをキーパッド入力します。	ー
2	入力したバーコードで検索します。	バーコードスキャンプラグインの標準機能です。
ー	検索後、入力したバーコードに該当する商品がデータベースにある場合、商品画面に移動します。	バーコードでJICFS_IDEAテーブルのJANコードを検索します。 移動時には、商品画面からの戻り先画面（所属する商品一覧画面、商品カテゴリー画面を商品画面の裏に生成します。）
ー	検索後、入力したバーコードに該当する商品がない場合、ダイアログを表示します。	ー

商品カテゴリー①（生鮮食品、お惣菜）（category.html）



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	生鮮食品、お惣菜のカテゴリー①を表示します。	category.jsonを読み込み、"IDEA_category1"に基づいて描画します。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択した商品カテゴリー画面②（生鮮食品、お惣菜）に移動します。	ー
2	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
3	1つ前の画面に戻ります。	ー
4	ホーム画面に戻ります。	ー

商品カテゴリ②（生鮮食品、お惣菜）（category.html）



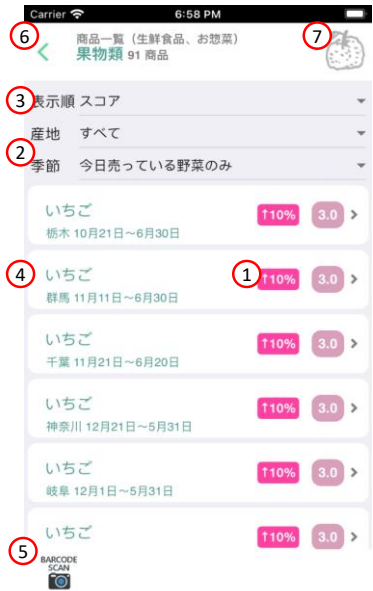
表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	前画面で選択されたカテゴリを表示します。	category.jsonを読み込み、"IDEA_category2"に基づいて描画します。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択した商品一覧（生鮮食品、お惣菜）画面に移動します。	ー
2	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
3	1つ前の画面に戻ります。	ー
4	ホーム画面に戻ります。	ー

商品一覧（生鮮食品、お惣菜）（product_list.html）



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	商品カテゴリー画面で選択されたカテゴリーに該当する商品を一覧表示します。	category.jsonで管理されるcode値でIDEAテーブルの漢字分類名を検索し、該当した商品を表示します。 トッパーの情報はcategory.jsonで管理されています。
ー	補正総合スコアの降順で商品を表示します。	補正総合スコアはIDEAテーブル情報取得時に算出されます。
1	表示中の商品の内、補正総合スコアが上位10%の場合に「↑10%」アイコンを表示します。	
2	一覧に表示された商品情報を基に絞り込み条件を生成します。	カテゴリーにより生成される絞り込み条件が異なります。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
2	選択した条件で絞り込みをします。	ー
3	スコア/名前順によるソートを行います。	ひらがな/カタカナ/アルファベット/漢字が混ざっていると仕様により正常にソートされません。
4	選択した商品（生鮮食品、お惣菜）画面に移動します。	ー
5	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
6	1つ前の画面に戻ります。	ー
7	ホーム画面に戻ります。	ー

商品（生鮮食品、お惣菜）（product.html）



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
—	商品一覧画面で選択された商品を表示します。	IDEAテーブルの該当商品情報を表示します。
1	該当するカテゴリーの全商品の内、補正総合スコアが上位10%の場合に「↑10%」アイコンを表示します。	補正総合スコアはIDEAテーブル情報取得時に算出されます。
2	各スコアに応じてイメージを表示します。	—
3	商品カテゴリーに応じたアンケートを描画します。	QA.jsonを読み込み、"IDEA"に基づいて描画します。
—	閲覧回数を加算します。	IDEA_questionnaireテーブルの該当商品の閲覧回数を加算します。
4	閲覧回数と情報リクエスト数からグラフを表示します。	IDEA_questionnaireテーブルの同名項目を読み込みます。
—	閲覧した商品情報を履歴として保存します。	history.txtに商品区分（IDEA/JICFS）、Prodcut_ID、表示日時を保存します。
—	商品画面の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。



画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
5	アンケートに回答すると、回答数を加算し、現在の回答状況のグラフを表示します。	IDEA_questionnaireテーブルの該当商品の回答を加算、読み込みします。
6	リクエスト確認画面に移動します。	—
7	バーコードスキャン機能を起動します。	—
8	1つ前の画面に戻ります。	—
9	ホーム画面に戻ります。	—



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	JICFS_IDEAのカテゴリー①を表示します。	category.jsonを読み込み、"JICFS_category1"に基づいて描画します。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択した商品カテゴリー画面②（JICFS_IDEA）に移動します。	ー
2	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
3	1つ前の画面に戻ります。	ー
4	ホーム画面に戻ります。	ー



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	前画面で選択されたカテゴリーを表示します。	category.jsonを読み込み、"JICFS_category2"に基づいて描画します。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択した商品カテゴリー画面③（JICFS_IDEA）に移動します。	ー
2	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
3	1つ前の画面に戻ります。	ー
4	ホーム画面に戻ります。	ー



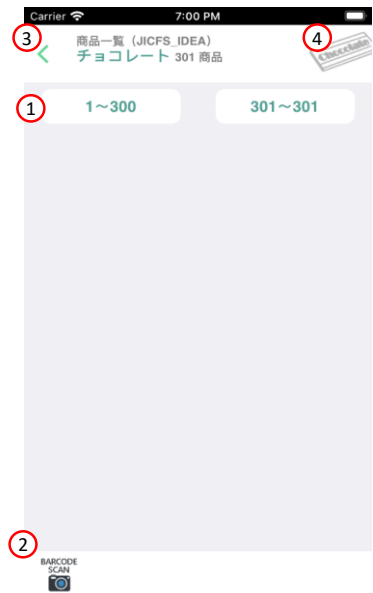
表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	前画面で選択されたカテゴリーを表示します。	category.jsonを読み込み、"JICFS_category3"に基づいて描画します。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択した商品一覧（JICFS_IDEA）のページ表示画面に移動します。	ー
2	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
3	1つ前の画面に戻ります。	ー
4	ホーム画面に戻ります。	ー

商品一覧（JICFS_IDEA）ページ表示（product_list.html）



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	商品カテゴリー画面で選択されたカテゴリーに該当する商品数を300件毎に分けてページボタンを表示します。	ページボタンとトップバーの総商品数はJICFS_IDEAテーブルを取得して表示します。トップバーのカテゴリー名はcategory.jsonで管理されています。
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択した商品一覧（JICFS_IDEA）のページに移動します。	ー
2	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
3	1つ前の画面に戻ります。	ー
4	ホーム画面に戻ります。	ー

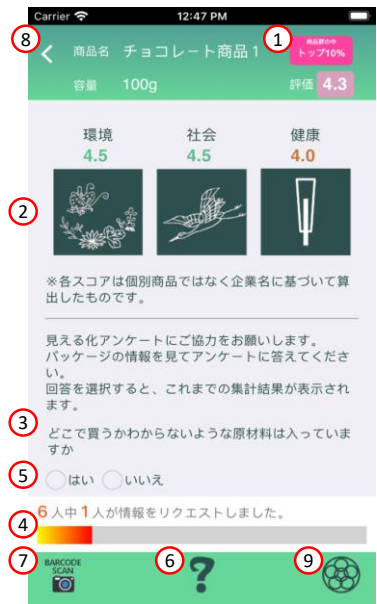


表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	商品カテゴリー画面で選択されたカテゴリーに該当する商品の指定ページを一覧表示します。	category.jsonで管理されるcode値でJICFS_IDEAテーブルのJICFS分類を検索し、該当した商品を表示します。 トップバーの情報は前画面から継承します。
ー	補正総合スコアの降順で商品を表示します。	補正総合スコアはアンケート回答時に算出されます。
1	表示中の商品の内、補正総合スコアが上位10%の場合に「↑10%」アイコンを表示します。	
ー	ホームに戻るボタン（右上）の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
2	選択した商品（JICFS_IDEA）画面に移動します。	ー
3	バーコードスキャン機能を起動します。	ー
4	1つ前の画面に戻ります。	ー
5	ホーム画面に戻ります。	ー



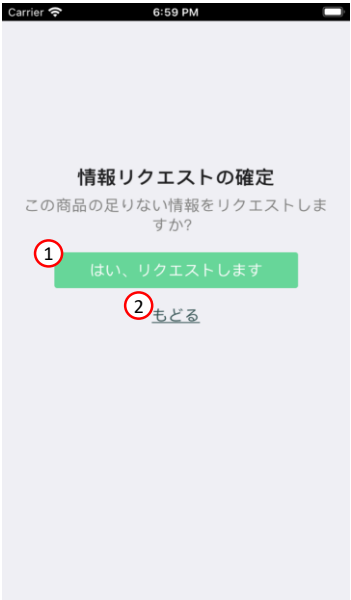
表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
—	商品一覧画面で選択された商品を表示します。	JICFS_IDEAテーブルの該当商品情報を表示します。
1	該当するカテゴリーの全商品の内、補正総合スコアが上位10%の場合に「↑10%」アイコンを表示します。	補正総合スコアはアンケート回答時に算出されます。
2	各スコアに応じてイメージを表示します。	—
3	アンケートを描画します。	QA.jsonを読み込み、"JICFS"に基づいて描画します。
—	閲覧回数を加算します。	JICFS_IDEA_questionnaireテーブルの該当商品の閲覧回数を加算します。
4	閲覧回数と情報リクエスト数からグラフを表示します。	JICFS_IDEA_questionnaireテーブルの同名項目を読み込みます。
—	閲覧した商品情報を履歴として保存します。	history.txtに商品区分（IDEA/JICFS）、Prodcut_ID、表示日時を保存します。
—	商品画面の初回表示時にボタン説明ダイアログを表示します。	counter.jsonを読み込み、表示回数が0の場合に表示します。 ダイアログの×ボタンを押したタイミングでcounter.jsonの表示回数を加算して保存します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
5	アンケートに回答すると、回答数を加算し、現在の回答状況のグラフを表示します。	JICFS_IDEA_questionnaireテーブルの該当商品の回答を加算、読み込みします。
5	アンケートに回答すると、回答状況から補正後スコアを更新します。	JICFS_IDEA_addテーブルの補正後スコアを再計算し、保存します。
6	リクエスト確認画面に移動します。	—
7	バーコードスキャン機能を起動します。	—
8	1つ前の画面に戻ります。	—
9	ホーム画面に戻ります。	—

情報リクエスト確認 (requestInfo.html)



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
—	—	—

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	情報リクエスト完了画面に移動します。	—
2	商品画面に戻ります。	—

情報リクエスト完了 (requestDone.html)



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	情報リクエストを加算します。	IDEA_questionnaire/JICFS_IDEA_questionnaireテーブルの該当商品の情報リクエストを加算します。
ー	商品画面の情報リクエストボタンを非活性化します。（閲覧回数を超えて情報リクエストを行えないようにします。）	ー

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	商品画面に戻ります。	ー

設定画面1 (setting_1.html)



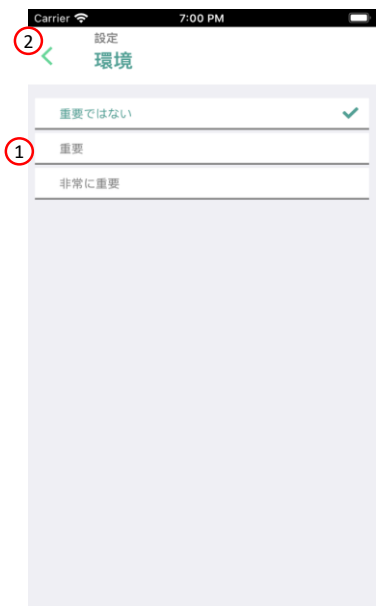
表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	保存済みの設定を画面に表示します。	起動画面の表示中に読み込み済の settings.json 情報を基に描画します。
2 3	デバッグモード中のみ、デバッグ用ボタンを表示します。	接続apiの名称を"test"とするとデバッグモードになります。 当箇所以外にデバッグ機能はありません。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	設定画面2に移動します。	—
2	検索履歴を表示します。	デバッグ用ボタンです。 history.txt の内容を表示します。
3	各種カウンターをリセットします。	デバッグ用ボタンです。 counter.json の内容を0クリアします。
4	全てを「重要ではない」に設定します。	—
5	検索履歴を削除します。	history.txt の内容をクリアします。
6	設定内容を保存してホーム画面に戻ります。	settings.json を更新して保存します。
7	設定内容を保存せずにホーム画面に戻ります。	—

設定画面2 (setting_2.html)



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
ー	保存中の設定値をチェック状態にします。	読み込み済のsettings.json情報を基に描画します。

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	選択状態を変更します。	ー
2	設定画面1に戻ります。選択状態が反映されます。	ー

このアプリについて (about.html)



表示時動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
—	—	—

画面動作

番号	動作概要	プログラム上の特記事項
1	ホーム画面に戻ります。	—